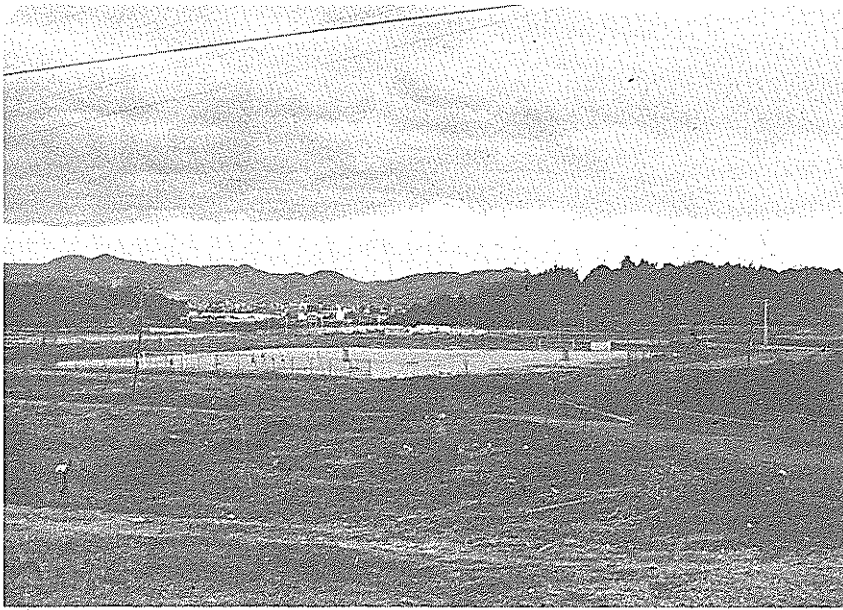


# 比江山開発どのようなように――

## 運動広場の用地は確保



これからの開発に、地元も注目している比江山

国府地区で十二月五日夜、市政懇談会が新しくなった地区公民館（乾常美館長）で開かれました。市側からは、吉本、浜田両助役、関係課長らが出席し、地元からは約三十五人が参加、比江山問題など、地元の抱える問題について熱心に話し合いました。

### 討議内容は…

○比江山の市有地が今後どうなるか、最大の関心事だ。木材団地誘致後は、歴史公園となることを期待していたがそれも無理となり、当時の約束がくずれてきているような気もする。地元としては、あの広い一角に必ず、運動広場を残してほしい。

●比江山は、運動公園にするという考えで出発したが、市の厳しい財政事情から、議会の審議を経て、処分の方向で話を進め、昭和五十五年には一部を木材団地に売却した。現在、飛び地を含め七畝が残っている。

構想としては、造成されている五・二畝に一部周辺の土地を買収

して六畝ぐらいの土地を確保し、公害のない工業団地にしたい。現在、富士重工の車両中継基地ができ、またミロク機械の進出やカシオ計算機との話もある。

開発にあたっては、地元の皆さんと十分協議の上進めていくつもりだ。運動広場については、必ず確保する考えだ。

○国分、比江、左右山地区のうち、左右山地区だけが、まだ公民館が改築されていない。六十年代にめどがたっているのか。

●国分、比江集会所は、木材団地誘致に伴う補助金で建設したが、現在補助金はなく、別の事業で対処していきたい。

○比江地区で、国衛発掘調査が進められているが、政府が発見された場合は、いろいろ規制されるの

では。  
●政府がはつきり発見されれば、国の指定を受け保護されるが、それには地元の承諾も必ず必要だ。  
○国府小学校の体育館の改築の見通しは。

●近い将来やらなければならないが、体育館のない学校もあり、そういうことも考慮に入れなければならない。今のところ来年度は、大篠小と十市小を計画している。  
○国府地区は、地下水を使用しているところが多く、水源地となっているのは問題と思うが。

●水質検査は十分にしており、地下水への心配はないと思う。

現在まで各地区へ、処理場建設地としてお願いに伺っているが、なかなか賛成が得られない。行政の大きな課題であり、努力しているが、皆さんの協力もお願いしたい。

約二時間の話し合いの中で、やはり一番の関心は比江山開発。地元としては、企業誘致も仕方ないものの、その一部には必ず運動広場を設置してほしいというのが、一致した意見のようでした。

